
用語の解説

【あ行】

ICT（はじめに、p19、20、169）

Information and Communication Technology の略。情報や通信に関する技術の総称。

一時避難地（p86、88、90、116、122）

地震などの二次災害に備えて、自主的に避難するところ。（おおむね1 ha（約1万㎡）以上の空地）

一般建築物（はじめに ほか）

市が所有する建築物及び市が区分所有又は賃借している施設をいう。

（ただし、道路・橋りょう、公園、下水道、上水道、環境プラントを除く。）

SDGs（p4）

Sustainable Development Goals の略。平成13年（2001年）に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、平成27年（2015年）9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された令和12年（2030年）までの国際目標。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っている。

【か行】

既存不適格（p31、36）

建築物について、過去の法律において違反なく建築（着工）されたものの、その後の法改正により現在の法律に適合しなくなった状態のこと。そのまま継続して使用はできるものの、増築や建替えを行う場合には、建築物全体を現在の法律に適合させる必要がある。

軽量鉄骨造（p16、22、25、30）

鉄骨造のうち、厚さ6mm以下の鋼材（軽量鉄骨）で建築物の骨組みを組んだもの。

公共施設の最適化（はじめに、p2、7、26、166）

市が保有する公共施設について、人口動向の変化や各施設の老朽化などに対応しながら、限られた予算の中で最適な整備・配置・維持保全などをおこなうこと。

更新（p21 ほか）

劣化した部位・部材や機器などを新しい物に取り替えること。

【さ行】

指定管理（p53 ほか）

平成15年（2003年）6月の地方自治法改正により導入され、民間事業者や地域団体も含めた幅広い団体が公の施設の管理運営を担うことができるようにした制度。

重量鉄骨造 (p16、22、25、30)

鉄骨造のうち、厚さ 6mm を超える鋼材（重量鉄骨）で建築物の骨組みを組んだもの。

吹田市第 4 次総合計画 (p9)

平成 31 年度（2019 年度）～平成 40 年度（2028 年度）までの 10 年間で計画期間とする総合計画。総合計画とは、吹田市のこれからのあるべき姿を描いたもので、総合的・計画的にまちづくりを進めていくうえでの基本的な方針となるもの。

スケルトンインフィル (p15)

スケルトンは建築物の骨格といえる柱や梁、床などの構造体（躯体）のことで、インフィルはそれ以外の内部の間仕切りや設備などのことを指す。スケルトンとインフィルに分離して設計することにより、構造体の耐久性を残したまま用途変更等が容易にできるようになり、建築物の長寿命化を図ることが可能となる。

【た行】**トイレのドライ化** (p20、119、124)

トイレの床や壁を屋内の他の部屋と同じ建材とし、床や壁の汚れを水で洗い流すのではなく、帚で掃いたり雑巾で拭いて清掃する方法にすること。

【は行】**非構造部材** (p20)

柱や梁、床などの構造体ではなく、天井材や外壁（外装材）など構造体と区分された部材。

避難所 (p34 ほか)

地震などにより家屋が全半壊、全半焼した場合や風水害のときに、市が必要に応じて開設するところ。

PFI 手法 (p15、119、120、124、125、167)

Private Finance Initiative の略。公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う公共事業の手法。

PFI 手法（BTO 方式） (p119、120、124、125)

PFI 手法による事業方式の一つで、BTO は Build Transfer Operate の略。PFI 事業者が施設を建設（Build）し、その後、一旦施設の所有権を公共に移管（Transfer）した上で、PFI 事業者が一定期間、施設を管理、運営（Operate）を行う事業方式。

福祉避難所 (p34 ほか)

高齢者や障がい者等、一般の避難生活において何らかの特別な配慮を必要とする方を対象に開設する避難所。

複層ガラス (p20)

複数枚のガラスの間に密閉された空気層を挟み込むことにより、断熱性能を向上させたガラスのこと。

保守 (p29)

点検の結果に基づき建築物等の機能の回復又は危険の防止のために行う消耗部品の取替え、注油、塗装その他これらに類する軽微な作業のこと。

【ま行】

木質化 (p20)

建築物の新築、増築、改築、模様替え又は改修にあたり、天井、床、壁等、室内に面する部分及び外壁等の屋外に面する部分並びにこれらの下地等の部分に木材を利用することをいう。

【や行】

幼稚園型認定こども園 (p6、92、94、95)

認可幼稚園が、保育が必要な子どものための保育時間を確保するなど、保育所的な機能を備えた施設。幼稚園としての位置付け（教育機関であること）は変わらず、「幼稚園教育要領」に基づいた教育をおこなう。

幼保連携型認定こども園 (p92、94)

幼稚園的機能と保育所的機能の両方の機能をあわせ持つ施設。認定こども園として独立しており、教育機関かつ児童福祉施設として文部科学省と厚生労働省から認可を受けている。

【ら行】

ライフサイクルコスト (LCC) (p15、19、21、32)

建築物の企画設計段階、建設段階、運用管理段階及び解体再利用段階の各段階のコストの総計。

Low-E ガラス (p20)

複層ガラスのうち、内面部に特殊金属膜をコーティングし、遮熱性と断熱性を高めたガラスのこと。